

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 いきるちから4				公表日	2025年 3月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		狭く感じる事もあるが、大人の目が行き届く為良いと感じている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			安全に過ごせるという点では配置数は適切だが、更に質の高い療育をと考えると足りないと思う事がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		整理整頓を心掛け、使用する玩具等はわかりやすい配置に設定している。	プライバシーの確保や死角になってしまう箇所への配慮が必要。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		室内が明るくて清潔。活動に合わせて机の配置等変えている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○	個室は無く、ワンフロアの作りになっている。緊急の場合はパーティションを使用する等の工夫が必要。落ち着きやすい奥まった空間はある。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者さんからお話があれば職員全員で共有し改善策を話し合っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日ごろからコミュニケーションを積極的にとり、意見の言いやすい雰囲気作りを行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		社内監査を行い、意見をもらう機会がある。	詳しく知る機会はない為、今後開示していきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内の研修・外部研修に参加する機会がある。	必要な研修は行っているが、期間が開いてしまう事がある。外部の研修や学会への参加など自己啓発の為の補助金等があると良い。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		保育士・児童指導員・理学療法士・作業療法士皆で知識や経験を共有して支援プログラムを作っている。	保護者さんへの周知は定期的に行う必要がある。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		定期的に面談の機会がある。	利用日数の少ないお子様のニーズや課題の把握が難しいと感じる事があり、こちらから積極的にアプローチしていきたい。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員全員で話し合い、意見をもらえる機会を設けている。	作成時だけではなく、定期的に共有していきたい。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員全員が同じ目標に向かって取り組んでいる。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		新しくアセスメント表を作成しており、今後活用していきたい。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		計画時には必要な項目ごとに具体的に話し合うようにしている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		日々相談しながら取り組みを行っている。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		同じプログラムだとしても難易度を変えたり、道具を変えたりと工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		課題ごとに個別・集団どちらで取り組むか相談して進めている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝と昼にミーティングを行っている。 午後から出勤する職員にも伝達事項の漏れが無い様に工夫している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		翌日の朝に共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個別に記録を残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		必ず定期的にモニタリングを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達管理責任者と現場職員で参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保育園・幼稚園と連携を意識してアプローチを行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保育園・幼稚園と連携できるような情報共有の機会を設けている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			役所や相談支援を通して行う事が多い。今後どの様に連携していくべきか検討したい。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			今まで機会がなく、意識して情報を収集していきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		園と事業所の連携は行っている。	公園や河川敷等に出かける事はあるが、交流はいまの所無い。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時に必ず顔を合わせ状況を伝えている。連絡帳やLINEを活用し、できるだけ細かくないよう伝えるようにしている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		定期的に保護者の方が参加されるイベントを開催し、情報提供できる場を設けている。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に丁寧に伝えるよう心掛けている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		計画作成時には面談を行い、お子様・ご家族の意思の確認を行っている。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎時やLINE、面談等でやっている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		年に3~4回親子参加のイベントを行っている。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		都度職員間で話し合い、結果を伝えている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		ブログを毎日更新し、様子が伝わるよう工夫している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		ロック付きの棚に閉まっている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚的に分かりやすく伝える等の配慮を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			地域に向けた行事は行っていない為、今後検討していきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			契約時にはお伝えしているが、ご家族への周知が定期的に行っていない。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		訓練時にはブログや連絡帳にてお子様の様子も含めてお伝えしている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		状況の確認はその都度行い、必要な場合は服薬同意書の記入をお願いしている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーのあるお子さんはご自宅からおやつを持参して頂き、必要に応じて食べる場所の配置を変更している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		非常時の持ち出し荷物の準備・訓練を行っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		非常時の対応について契約時に周知し、緊急連絡先の聞き取りを行っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		その都度共有し、対策を検討している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に研修を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時に説明は行っているが、いまの所案件がない。		